

令和4年4月13日

政務活動費成果届出書

届出者 小出 義一

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

6次産業化を進めるための調査

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

6次産業化調査特別委員会において調査、研究を行うこととした「6次産業化を進めるための調査」について株式会社アルファポイント中野公雄氏を講師として勉強会と意見交換会を実施する。中野氏は愛知県が運営する6次産業化サポートセンターの事務局長を経験されており、6次産業化に係る人材育成研修を開催されてきた経歴があるため、勉強会では半田市が目指すべき方向性のヒントを学ぶ。意見交換会では、市内新規就農者もお招きし、就農者側の6次産業化についての考え方や課題などを学び委員会としての研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

以下の事を学ぶ事ができ、目的を達成することが出来ました。

中野公雄氏の講義から

- ・6次産業化は、農家が産業の起点となり、包括的に付加価値創出に關与する仕組みが必要。
- ・消費者の声や意見を起点に製品・サービスの開発を“マーケットインの発想”で行う。
- ・ビジネスモデル化し事業計画に落とし込めるような支援が求められている。

就業者との意見交換から

- ・若い方が真摯に農業に取り組んでいて頼もしく思う。彼らの力を活かす6次産業化をめざす。
- ・就業者が抱える課題を共有し解決する仕組みが必要。

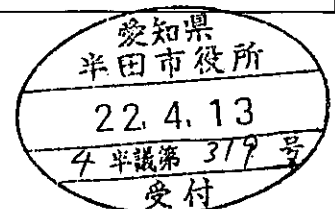
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

6次産業化を半田市の将来をつくる産業振興として捉え以下の実行を望みます。

- ・就農者と課題を共有するための窓口を設置してください。
- ・課題を農商工など関係者で共有するために意見交換・情報交換の場をつくってください。
- ・課題を新しい付加価値の創出につなげるよう、新たな仕組みをつくって取組んで下さい。
- ・6次産業化に結びつける資源の発見を、生産者のみの課題としないよう取組んでください。
- ・6次産業化の推進は市民の理解と協力が必要で、地産地消の推進と共に取組んでください。
- ・以上を円滑に計画的に実行するために6次産業推進課を設置してください。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書 No.
4/11	13:30～ 17:00	勉強会講師謝礼 （講師：株式会社アルファポイント 中野公雄氏）	講師謝礼 26,600 円（往復 交通費 上前津⇄ 半田 1,600円 含む）	26,600	1
		26,600円を11人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を 準用）	1名あたり	代表者 2,420 委員 2,418	

令和4年4月13日

領収書等貼付用紙

議員名 小出 義一

タイトル

6次産業化を進めるための調査

1 枚中 1 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 26,600 円 也

但し、令和4年4月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年4月11日

半田市議会議員

代表 小出 義一 他 10名 様

講師

中野 公雄

令和 4年 4月 11日

政務活動費成果届出書

届出者 國弘秀之

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

6次産業化を進めるための調査

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

6次産業化調査特別委員会において調査、研究を行うこととした「6次産業化を進めるための調査」について株式会社アルファポイント中野公雄氏を講師として勉強会と意見交換会を実施する。中野氏は愛知県が運営する6次産業化サポートセンターの事務局長を経験されており、6次産業化に係る人材育成研修を開催されてきた経歴があるため、勉強会では半田市が目指すべき方向性のヒントを学ぶ。意見交換会では、市内新規就農者もお招きし、就農者側の6次産業化についての考え方や課題などを学び委員会としての研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

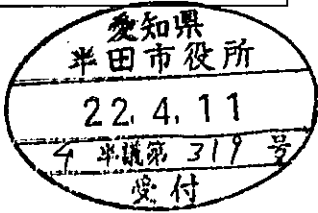
参加者それぞれの視点から率直な意見や提言を得る事ができた。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

就農者の実際に求める支援や、マーケットインの視点に立った消費者のニーズに沿った経営戦略等において、持続可能な農業を可能とするための支援が必要。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書 No.
4/11	13:30～ 17:00	勉強会講師謝礼 （講師：株式会社アルファポ イント 中野公雄氏）	講師謝礼 26,600 円（往復 交通費 上前津⇄ 半田 1,600円 含む）	26,600	1
		26,600円を11人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を 準用）	1名あたり	代表者 2,420 委員 2,418	

令和4年4月11日

領収書等貼付用紙

議員名 國弘秀之

タイトル

6次産業化を進めるための調査

1 枚中 1 枚目

※報告書における領収書 No. が分かるように貼り付けること。

原本は小出義一議員の報告用紙に添付しています。

領 収 書

金 26,600 円 也

但し、令和4年4月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年4月11日

半田市議会議員

代表 小出 義一 他 10名 様

講師

中野公雄

令和4年4月13日

政務活動費成果届出書

届出者 嶋崎昌弘

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

6次産業化を進めるための調査

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

6次産業化調査特別委員会において調査、研究を行うこととした「6次産業化を進めるための調査」について株式会社アルファポイント中野公雄氏を講師として勉強会と意見交換会を実施する。中野氏は愛知県が運営する6次産業化サポートセンターの事務局長を経験されており、6次産業化に係る人材育成研修を開催されてきた経歴があるため、勉強会では半田市が目指すべき方向性のヒントを学ぶ。意見交換会では、市内新規就農者もお招きし、就農者側の6次産業化についての考え方や課題などを学び委員会としての研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

・できた。

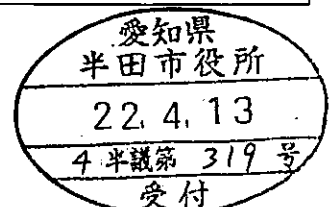
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・6次産業化の予算がないために、県・国につなげるパイプづくりをしっかりとる。
- ・制度と活用について把握できる人材づくりをする。
- ・就農者の困りごと相談を年に数回行い、戦略を立てるお手つだいをする。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ・就農者の構想は多々面白いが、行きつく先は資金の工面算段であった。
- ・生産品を売る前に自分をうる。

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
4/11	13:30~ 17:00	勉強会講師謝礼 (講師：株式会社アルファポイント 中野公雄氏)	講師謝礼 26,600 円 (往復 交通費 上前津⇄ 半田 1,600 円 含む)	26,600	1
		26,600 円を 11 人で按分 (講師謝礼は半田市の内規を 準用)	1 名あたり	代表者 2,420 委員 2,418	

令和4年4月13日

領収書等貼付用紙

議員名 嶋崎昌弘

タイトル

6次産業化を進めるための調査

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

原本は小出義一議員の報告用紙に添付しています。

領 収 書

金 26,600 円也

但し、令和4年4月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年4月11日

半田市議会議員

代表 小出 義一 他 10名 様

講師

中野公雄

令和 4年 4月 13日

政務活動費成果届出書

届出者 伊藤 正興

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

6次産業化を進めるための調査

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

6次産業化調査特別委員会において調査、研究を行うこととした「6次産業化を進めるための調査」について株式会社アルファポイント中野公雄氏を講師として勉強会と意見交換会を実施する。中野氏は愛知県が運営する6次産業化サポートセンターの事務局長を経験されており、6次産業化に係る人材育成研修を開催されてきた経歴があるため、勉強会では半田市が目指すべき方向性のヒントを学ぶ。意見交換会では、市内新規就農者もお招きし、就農者側の6次産業化についての考え方や課題などを学び委員会としての研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

6次産業化に関わる中野氏の講演は、実体験を基に具体的な説明でした。特に6次産業化の手法に関しては、成功事例を引き合いにだし分かりやすく説明をいただいた。専門家ならではの指摘もあり勉強になりました。

6次産業化を目指す新規就農者との意見交換では、新規就農者の本音を聞くことができました。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

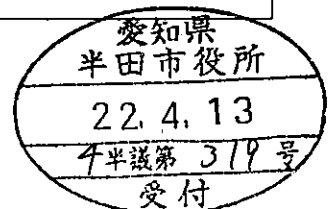
・6次産業化を検討している新規就農者や6次産業化に取り組んでいる個人、企業に対し、国、県の6次産業化に関わる制度や補助金等の情報提供を行う。

・半田市に再度、農務課を復活させ、6次産業化に取り組む姿勢と相談窓口を明確化する。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

Blank area for additional remarks.

	議長	管理委員長
確認欄		



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書 No.
4/11	13:30～ 17:00	勉強会講師謝礼 （講師：株式会社アルファポイ ント 中野公雄氏）	講師謝礼 26,600 円（往復 交通費 上前津⇄ 半田 1,600円 含む）	26,600	1
		26,600円を11人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を 準用）	1名あたり	代表者 2,420 委員 2,418	

令和4年4月13日

領収書等貼付用紙

議員名 伊藤正興

タイトル

6次産業化を進めるための調査

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

原本は小出義一議員の報告用紙に添付しています。

領 収 書

金 26,600 円也

但し、令和4年4月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年4月11日

半田市議会議員

代表 小出 義一 他 10名 様

講師

中野公雄

令和4年4月11日

政務活動費成果届出書

届出者 中村 和也

○使途項目（○をつける） 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

6次産業化を進めるための調査

○目的（計画書の目的欄をそのまま記載）

6次産業化調査特別委員会において調査、研究を行うこととした「6次産業化を進めるための調査」について株式会社アルファポイント中野公雄氏を講師として勉強会と意見交換会を実施する。中野氏は愛知県が運営する6次産業化サポートセンターの事務局長を経験されており、6次産業化に係る人材育成研修を開催されてきた経歴があるため、勉強会では半田市が目指すべき方向性のヒントを学ぶ。意見交換会では、市内新規就農者もお招きし、就農者側の6次産業化についての考え方や課題などを学び委員会としての研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果（目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。）

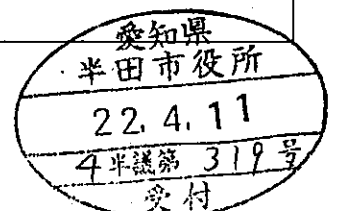
保健所の指示により欠席させていただきました。

○提言（半田市に対し、何をどう活用するか。）

保健所の指示により欠席させていただきました。

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

確認欄	議長	管理委員長



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書 No.
4/11	13:30～ 17:00	勉強会講師謝礼 （講師：株式会社アルファポ イント 中野公雄氏）	講師謝礼 26,600 円（往復 交通費 上前津⇔ 半田 1,600円 含む）	26,600	1
		26,600円を11人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を 準用）	1名あたり	代表者 2,420 委員 2,418	

令和4年4月11日

領収書等貼付用紙

議員名 中村 和也

タイトル

6次産業化を進めるための調査

1 枚中 1 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

原本は小出義一議員の報告用紙に添付しています。

領 収 書

金 26,600 円 也

但し、令和4年4月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年4月11日

半田市議会議員

代表 小出 義一 他 10名 様

講師

中野 公雄

令和4年4月12日

政務活動費成果届出書

届出者 山田 清一

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

6次産業化を進めるための調査

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

6次産業化調査特別委員会において調査、研究を行うこととした「6次産業化を進めるための調査」について株式会社アルファポイント中野公雄氏を講師として勉強会と意見交換会を実施する。中野氏は愛知県が運営する6次産業化サポートセンターの事務局長を経験されており、6次産業化に係る人材育成研修を開催されてきた経歴があるため、勉強会では半田市が目指すべき方向性のヒントを学ぶ。意見交換会では、市内新規就農者もお招きし、就農者側の6次産業化についての考え方や課題などを学び委員会としての研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

目的は達成できた。半田市内に多くの若い就農者の存在を知り、支援体制の重要性を認識した。

- ・付加価値を高めた経営改善のための6次産業化の取り組み支援として、愛知県は令和3年度まで6次産業化サポートセンター、令和4年度より農山漁村発イノベーションサポートセンターが設置され支援窓口となっている。
- ・農山漁村発イノベーションサポートセンターは、相談内容に対し、企画推進員が経営改善のための戦略・計画の作成を支援する。
- ・6次産業化地域プランナーの派遣が必要な場合は「支援申請書」を作成し、「財務諸表等支援に必要な資料(直近3年間の決算書等)とともにセンターへ提出する。支援申請書作成も支援が可能である。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・人口減少や高齢化の進行等による食料消費の量の縮小が懸念される中で、新たな需要を生み出す6次産業化の視点が大事である。
- ・6次産業化の目的は、高付加価値化であり、生産者をはじめ6次産業化を目指す方に対し農山漁村発イノベーションサポートセンターの存在と支援内容を周知する。
- ・6次産業化を進めるにあたっては、商品の企画開発や生産、販売方法等において、消費者ニーズを重視し対応した、マーケットインの視点が重要である。
- ・6次産業化を検討するうえで「何を、どのように生産し、それを誰に、どこで販売していくか」明確に戦略を立てることが重要である、そのためにサポートセンターを活用する。

	議長	管理委員長
確認欄		

愛知県
半田市役所
22.4.12
4半議第319号
受付

申し合わせ様式第2号

○その他（その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

--

確認欄	議長	管理委員長

○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書 No.
4/11	13:30～ 17:00	勉強会講師謝礼 （講師：株式会社アルファポイント 中野公雄氏）	講師謝礼 26,600 円（往復 交通費 上前津⇔ 半田 1,600円 含む）	26,600	1
		26,600円を11人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を 準用）	1名あたり	代表者 2,420 委員 2,418	

令和4年4月12日

領収書等貼付用紙

議員名 山田 清一

タイトル

6次産業化を進めるための調査

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

原本は小出義一議員の報告用紙に添付しています。

領 収 書

金 26,600 円 也

但し、令和4年4月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年4月11日

半田市議会議員

代表 小出 義一 他 10名 様

講師

中野 公雄

令和 4年4月13日

政務活動費成果届出書

届出者 加藤美幸

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

6次産業化を進めるための調査

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

6次産業化調査特別委員会において調査、研究を行うこととした「6次産業化を進めるための調査」について株式会社アルファポイント中野公雄氏を講師として勉強会と意見交換会を実施する。中野氏は愛知県が運営する6次産業化サポートセンターの事務局長を経験されており、6次産業化に係る人材育成研修を開催されてきた経歴があるため、勉強会では半田市が目指すべき方向性のヒントを学ぶ。意見交換会では、市内新規就農者もお招きし、就農者側の6次産業化についての考え方や課題などを学び委員会としての研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

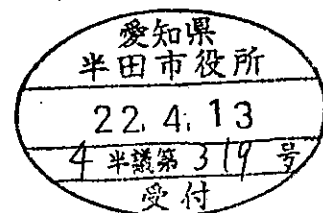
- ・中野氏の講義は、6次産業化の具体例も交えて、内容の濃いものであった。
- ・参加された農家の方が中野氏へもっとアドバイスをもらいたいという姿勢が感じられた。
- ・これまで市は知多牛を中心にPRしていたが、コメや野菜、果物、花き、蜂蜜など、多彩な農業を魅力ある地域資源と再認識すべきと感じられた。
- ・農産物の出口を安定的なものとする支援や、農家の経営や後継者、農地の諸問題においても相談できる相談体制が絶対的に必要である。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・愛知県農山漁村発イノベーションサポートセンターを活用し、本気で6次産業化に取り組むべきである。
- ・農業生産者と、商工業者、消費者、福祉関係者等が、マッチングできる場を設けるべきです。
- ・若い就農者を赤レンガや運河・クラシテイなどで行われるマルシェへの参加を促すべきです。
- ・市役所ロビーでの農産物の販売や展示、レストランでの食材利用で支援をすべきです。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可)

確認欄	議長	管理委員長



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書 No.
4/11	13:30～ 17:00	勉強会講師謝礼 （講師：株式会社アルファポイ ント 中野公雄氏）	講師謝礼 26,600 円（往復 交通費 上前津⇄ 半田 1,600円 含む）	26,600	1
		26,600円を11人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を 準用）	1名あたり	代表者 2,420 委員 2,418	

令和4年4月13日

領収書等貼付用紙

議員名 加藤 美幸

タイトル

6次産業化を進めるための調査

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

原本は小出義一議員の報告用紙に添付しています。

領 収 書

金 26,600 円也

但し、令和4年4月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年4月11日

半田市議会議員

代表 小出 義一 他 10名 様

講師

中野 公雄

政務活動費成果届出書

届出者 岩田玲子

○使途項目（○をつける） 調査研究・**研 修**・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

6次産業化を進めるための調査

○目 的 （計画書の目的欄をそのまま記載）

6次産業化調査特別委員会において調査、研究を行うこととした「6次産業化を進めるための調査」について株式会社アルファポイント中野公雄氏を講師として勉強会と意見交換会を実施する。中野氏は愛知県が運営する6次産業化サポートセンターの事務局長を経験されており、6次産業化に係る人材育成研修を開催されてきた経歴があるため、勉強会では半田市が目指すべき方向性のヒントを学ぶ。意見交換会では、市内新規就農者もお招きし、就農者側の6次産業化についての考え方や課題などを学び委員会としての研究、協議に役立てたいとするもの。

○結 果 （目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。）

目標は達成できた。

理由

- ・農家が主体をとれることが必要である。⇒売れるものを作り、指名買いをされる商品を作ることができるかがカギとなる。
- ・自分が作っているものは、どんな人たちに合うのか、マーケティング戦略をたてることがカギとなる。

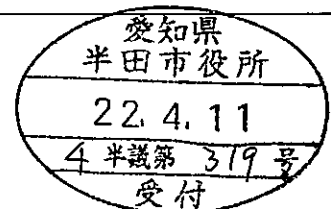
○提 言 （半田市に対し、何をどう活用するか。）

- ・消費者ニーズに対応する商品開発・販売方法が必要であり、そのためにも、マーケティング戦略にたけた講師に出口戦略を教えていただく必要がある。
- ・戦略をたててもらうためにも、外部講師をお招きした講習会や、研修会を行う必要がある。
- ・県の事業である6次産業化サポートセンターへの繋がりが大切であり、サポートをいただけるチャンスでもあるため、市は積極的にサポートセンターにつなぐ役割を担うべきである。

○その他 （その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。）

Blank box for additional remarks.

確認欄	議長	管理委員長



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日	時 間	内 容		金額（円）	領収書 No.
4/11	13:30～ 17:00	勉強会講師謝礼 （講師：株式会社アルファポイ ント 中野公雄氏）	講師謝礼 26,600 円（往復 交通費 上前津⇄ 半田 1,600円 含む）	26,600	1
		26,600円を11人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を 準用）	1名あたり	代表者 2,420 委員 2,418	

令和4年4月11日

領収書等貼付用紙

議員名 岩田 玲子

タイトル

6次産業化を進めるための調査

1 枚中 1 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

原本は小出義一議員の報告用紙に添付しています。

領 収 書

金 26,600 円 也

但し、令和4年4月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年4月11日

半田市議会議員

代表 小出 義一 他 10名 様

講師

中野 公雄

令和4年4月12日

政務活動費成果届出書

届出者 竹内 功治

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

6次産業化を進めるための調査

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

6次産業化調査特別委員会において調査、研究を行うこととした「6次産業化を進めるための調査」について株式会社アルファポイント中野公雄氏を講師として勉強会と意見交換会を実施する。中野氏は愛知県が運営する6次産業化サポートセンターの事務局長を経験されており、6次産業化に係る人材育成研修を開催されてきた経歴があるため、勉強会では半田市が目指すべき方向性のヒントを学ぶ。意見交換会では、市内新規就農者もお招きし、就農者側の6次産業化についての考え方や課題などを学び委員会としての研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

下記のことを学び、目的は達成できた。

- ・今まで以上に、6次産業化の内容を理解することができた。
- ・6次産業化の成功率が、40%も満たないことを知ることができた。
- ・出口を想定して、市場価値のあるものを販売する必要がある。
- ・農家は企業に比べて小規模のため、弱者の戦略を取るべきである。
- ・愛知県6次産業化サポートセンターは、農山漁村発イノベーションサポートセンターと名称を変更し、農工商連携を高めるようである。
- ・6次産業化に向けた情報を知り理解して取組まなければ、成功することは難しい。

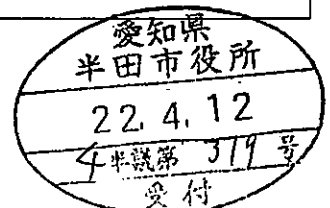
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・6次産業化を行う、また関心のある農業従事者に対して、愛知県が実施しているサポートセンターなど、研修や勉強等を行い取組むきっかけ作りが必要である。そのためにも半田市として、窓口や相談ができる体制を強化する必要があるのではないか。
- ・今回の講師のように、6次産業化を理解して指導ができる専門家とのパイプを強め、いつでも農業従事者と接することが出来て、意見交換が出来るようにすべきではないか。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

- ・若い世代の農業従事者はやる気があるが、どのように取組むべきなのか情報を持っていない。

	議長	管理委員長
確認欄		



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書 No.
4/11	13:30～ 17:00	勉強会講師謝礼 （講師：株式会社アルファポイント 中野公雄氏）	講師謝礼 26,600 円（往復 交通費 上前津⇄ 半田 1,600円 含む）	26,600	1
		26,600円を11人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を 準用）	1名あたり	代表者 2,420 委員 2,418	

令和4年4月12日

領収書等貼付用紙

議員名 竹内 功治

タイトル

6次産業化を進めるための調査

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

原本は小出義一議員の報告用紙に添付しています。

領 収 書

金 26,600 円 也

但し、令和4年4月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年4月11日

半田市議会議員

代表 小出 義一 他 10名 様

講師

中野 公雄

令和4年4月13日

政務活動費成果届出書

届出者 澤田 勝

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

6次産業化を進めるための調査

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

6次産業化調査特別委員会において調査、研究を行うこととした「6次産業化を進めるための調査」について株式会社アルファポイント中野公雄氏を講師として勉強会と意見交換会を実施する。中野氏は愛知県が運営する6次産業化サポートセンターの事務局長を経験されており、6次産業化に係る人材育成研修を開催されてきた経歴があるため、勉強会では半田市が目指すべき方向性のヒントを学ぶ。意見交換会では、市内新規就農者もお招きし、就農者側の6次産業化についての考え方や課題などを学び委員会としての研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

実際に6次産業化に進む農業従事者へのサポート実績のある中野公雄氏の講義は、6次化を進めるためには販売のターゲット(客層)を明確にすることや、事業計画(経営改善戦略)が重要との内容でためになった。6次産業化調査特別委員会を立ち上げた早い時期に講義を聞くべきだった。また、若手就農者との意見交換会は、時間の制限があったので十分読み取れたとは言えないが、農業への可能性や6次産業化の夢(意外と漠然としていた)を感じた。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

半田市での6次産業化を進めるには、若手の就農者がさまざまな情報を得られる環境づくり(多様な就農者の交流)や、農業推進のきっかけになるような場所の提供、また、中野氏のような情報やノウハウをもったサポートが継続される事業を行う、プラットフォームの様な役割をしていくと良いと思いました。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



○実績（別紙に領収書を添付すること）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書 No.
4/11	13:30～ 17:00	勉強会講師謝礼 （講師：株式会社アルファポイント 中野公雄氏）	講師謝礼 26,600 円（往復 交通費 上前津⇄ 半田 1,600円 含む）	26,600	1
		26,600円を11人で按分 （講師謝礼は半田市の内規を 準用）	1名あたり	代表者 2,420 委員 2,418	

令和4年4月13日

領収書等貼付用紙

議員名 澤田 勝

タイトル

6次産業化を進めるための調査

1 枚中 1 枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

原本は小出義一議員の報告用紙に添付しています。

領 収 書

金 26,600 円 也

但し、令和4年4月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年4月11日

半田市議会議員

代表 小出 義一 他 10名 様

講師

中野 公雄

令和 4年 4月 14日

政務活動費成果届出書

届出者 坂井 美穂

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

6次産業化を進めるための調査

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

6次産業化調査特別委員会において調査、研究を行うこととした「6次産業化を進めるための調査」について株式会社アルファポイント中野公雄氏を講師として勉強会と意見交換会を実施する。中野氏は愛知県が運営する6次産業化サポートセンターの事務局長を経験されており、6次産業化に係る人材育成研修を開催されてきた経歴があるため、勉強会では半田市が目指すべき方向性のヒントを学ぶ。意見交換会では、市内新規就農者もお招きし、就農者側の6次産業化についての考え方や課題などを学び委員会としての研究、協議に役立てたいとするもの。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

農家等の「生産者」は質の高い農作物等を育て、収穫する高い技術を持っているが、マーケティングについての基礎からの知識を持ち、情報や関係者を活用する術を持たない限り、6次産業化に挑戦しても成功することはできないことがよく理解できました。農家等の「生産者」は若手が多く、チャレンジしたいという意欲にあふれていたが、何から始めていいかわからず、新たなビジネスモデルの構想はあっても、具体的な数字の事業計画に落とし込まれていないという課題があることがわかりました。

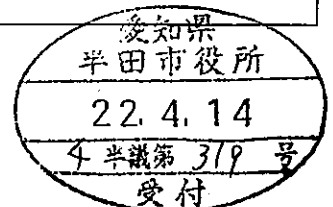
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

6次産業化を軌道に乗せて、海外でも勝負できる商品を育て、半田市のビジネスモデル戦略になるかどうかは、まずは今回、参加してくれた意欲のある生産者に対して、行政がサポートセンターに繋いだり、他地域での成功体験などの情報を共有できる zoom 会議に参加してもらうなどの場を提供することで、数字の事業計画を作成できるようになってもらい、描いた計画が半田の新たなブランドとしてのビジネスモデル戦略になるまで、行政と一緒に、他市町の成功例を参考に、場所の提供、ふるさと納税返礼品等、キーパーソンに繋ぐなど、できる支援を一緒に考えていくことが重要だと感じました。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

Blank box for additional remarks.

確認欄	議長	管理委員長



○実績 (別紙に領収書を添付すること)

日にち	時間	内容		金額 (円)	領収書 No.
4/11	13:30~ 17:00	勉強会講師謝礼 (講師：株式会社アルファポイ ント 中野公雄氏)	講師謝礼 26,600 円 (往復 交通費 上前津⇄ 半田 1,600円 含む)	26,600	1
		26,600円を11人で按分 (講師謝礼は半田市の内規を 準用)	1名あたり	代表者 2,420 委員 2,418	

令和4年4月14日

領収書等貼付用紙

議員名 坂井 美穂

タイトル

6次産業化を進めるための調査

1 枚中 1 枚目

※報告書における領収書 No. が分かるように貼り付けること。

原本は小出義一議員の報告用紙に添付しています。

領 収 書

金 26,600 円 也

但し、令和4年4月11日開催 半田市議会議員勉強会の
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和4年4月11日

半田市議会議員

代表 小出 義一 他 10名 様

講師

中野 公雄